

# 平成20年度 分野チェックリスト

分野名	健康・福祉分野		分野番号	3
分野担当部	保健福祉部	関連部	区民生活部	

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化							
番号	指標名	単位	指標値			目標値	
			17年度	18年度	19年度	22	年度末
1	国民健康保険加入者1人あたり医療給付費 (地域差指数 = 全国平均1)	全国平均 = 1	0.937	0.924		減少させる	
2	公共施設バリアフリー度	%	45.9	47.1	48.3	70	
3	特別養護老人ホーム入所者平均待機期間	月	1年1か月	9か月	9か月	6か月	
4	高齢者で生きがいを感じている人の割合	%	78.3	78.6	79.1	83.0	
5	保育園待機児童数	人	46	13	86	0	

指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)
<p>1. 国は、今後の高齢者の医療給付費の増大が見込まれる中、負担能力を勘案しつつ、現役世代と高齢者でともに支えあう後期高齢者医療制度を創設させた。また、診療報酬の引き下げを行うとともに、将来の医療給付費の抑制のため、内臓脂肪症候群に着目した生活習慣病対策に重点をおいた特定健診・保健指導の実施などの各種の政策を行ってきた。杉並区の状況として、国保一人当たりの医療給付費(地域差指数)は、23区で3番目であり、低い水準を保っている。増加する医療給付費の適正化を図るため、医療データ(画像レセプト)を活用しながら特定健診・保健指導を効果的に実施し、中長期的に医療費の伸びを抑制する。</p> <p>2. 既存施設の障害者用トイレが整備されたことにより、指標値は僅かながら高くなった。施設の種類によって整備の優先項目が異なることや区立施設の民間委託が進むことにより、目標値を一律に設定するのは難しい。</p> <p>3. 特別養護老人ホームの入所平均待機期間は、特別養護老人ホーム1ヶ所及び入所型施設として認知症グループホームを2ヶ所整備し、また、杉並区指定介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)入所の指針により、入所の必要性の高い人から入所できる仕組みとなっているため、平均待機期間は減少傾向となっている。</p> <p>4. 高齢者で生きがいを感じている人の割合は横ばいであった(区民意向調査)。なお、3年毎実施の高齢者実態調査(平成19年度)では、生きがいを感じている人の割合は72.9%と前回の調査結果78.9%から6ポイント減少(男性5.6ポイントの減、女性6.1ポイントの減)した。人間関係の希薄化や核家族化の進行など、高齢者を巡る社会状況の変化が生きがいを感じにくくしていることが考えられる。また、「生きがいを感じる内容」をみると、60～64歳の男性では「仕事」が最も多いが、65歳以上では男女とも「趣味の活動」「友人との交友」「家族等との団らん」の数値が高い。さらに、65歳以上の71.7%は収入を伴う仕事をしていないことから、就業事業とあわせ、趣味の活動が活かせるボランティア活動など幅広い生きがい対策を講ずる必要がある。</p> <p>5. 認可保育所、認証保育所等の入所定員は、20年度当初の入園に向け、19年度中に50名拡大した(認可保育所5,119人 5,139人、認証保育所274人 304人)が、対象となる就学前の児童数が19年度中に大幅に増加し(19,691人 20,212人、521人増)、保育需要増と重なって、待機児童数は73名増加(13人 86人)した。</p>

チェックリストの状況(参考)

番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)
	定義	
1	国民健康保険一人当たり医療費	平成18年度実績では、杉並区の地域差指数は0.924と平成17年度実績の0.937からさらに向上した。他の自治体と比較しても、23区で3番目に低い数値を示している。10万人を超える被保険者数を有する多摩地区と比較すると、被保険者数が約14万人の八王子市の地域差指数は0.975、同じく約11万人の町田市は0.941である。
	国民健康保険一人あたり医療給付費 (地域差指数 = 全国平均を1とする) (計算式) = 実績給付費(一般被保険者の給付費 + 老人保健医療費拠出金) / 基準給付費(全国平均一人あたり医療給付費から得た給付費 + 基準老人保健医療費拠出金)	
2	公共施設のバリアフリー度	同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難。 区立施設は、不特定多数が利用する施設(体育館、敬老会館、児童館、集会施設等)のみを対象とした。 スロープ:136/172 = 79.1%、自動ドア:100/171 = 58.5%、障害者トイレ:108/172 = 62.8%。その他の事項の整備状況は「いってきまっぷホームページ」で公開・更新している。
	公共施設(区立施設)において、スロープ・自動ドア・障害者用トイレの全てを備えている建物	
3	特別養護老人ホームの入所者平均待機期間	他県で平均待機期間を公表している自治体は少しあるが、各自治体により、施設数、待機者数が様々であるため比較は困難である。
	特別養護老人ホームに入所した人のうち、申し込みから入所までに要した待機期間の平均月数。ただし、14年度までは、原則として、申込み順となっている。	
4	高齢者で生きがいを感じている人の割合	江東区(19年区政世論調査) いきがいを感じている: 63.6%となっているが標本935人で年齢が高齢者に限っていない。 各区の区民意向・世論調査について毎年同様の内容を調査していないので比較が難しい。
	65歳以上のうち「あなたは、いま生きがいを感じていますか」に「はい」と回答した人の割合	
5	保育園待機児童数	東京都23区の待機児童数 2,451人(平成19年4月1日) 3,016人(平成20年4月1日)
	翌年度4月1日の待機児童数	
特記事項		